

令和8年度 蒲生中学校グランドデザイン

学校教育目標

自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒の育成

《めざす学校像》

- 1 安心・安全で、元気よく活気のある学校
- 2 生徒の個性を伸ばし、生かせる学校
- 3 地域と連携を図り、地域と共にある学校

《めざす生徒像》

- 1 主体的に判断し、行動する生徒
- 2 学びに向い、自己を高める生徒
- 3 協力的で思いやりがある生徒
- 4 健康明朗で、たくましい生徒

《めざす教師像》

- 1 教育に生きがいをもち、研鑽を積む教師
- 2 職務に真摯に取り組む教師
- 3 生徒や保護者に寄り添う教師

重点課題1

豊かな心と健やかな身体を育む

<取組1> 生徒指導の充実

- いじめ・不登校等の未然防止の取組
 - ・学年・学級経営の充実
 - ・「いじめアンケート」の実施(毎月実施)
 - ・「学校楽しいーと」の活用
 - ・教育相談の実施
 - ・心の健康観察の実施
- 組織としての対応
 - ・職員間の情報交換・共通理解の徹底
 - ・外部機関や家庭との連携
- 発達支持的生徒指導と課題未然防止教育の推進
- メディア教育の充実

<取組2> 人権教育・道徳教育の充実

- 問題解決的な学習や体験的な学習の導入
- 指導方法や評価の工夫
- SOSの出し方教育の取組
- 教師自らの人権感覚を磨く研修の実施
- 「モラリティ・インクルージメント推進事業」を踏まえ、家庭や地域と連携した道徳心向上の推進

<取組3> 保健体育指導の充実

- 基本的な生活習慣の確立
 - ・家庭と連携した生活リズムの確立
 - ・疾病治療の推進 **むし歯治療率 80%**
 - ・食に関する指導の充実
- 全国体力運動能力運動習慣等調査での総合評価県平均以上
- メディアの適切な活用

重点課題2

自立する力を育む

<取組1> 学習指導の充実

- 確かな学力の定着
 - ・授業の構え5の徹底
 - ・授業相互参観週間(学期1回)の充実
 - ・Web問題や諸調査物等の過去問の活用
 - ・タブレットを活用した授業 **(活用率 60%以上)**

全国学力・学習状況調査及び鹿児島学力・学習状況調査、全教科県平均+3

<取組2> 学習者主体の授業の推進

- 問題発見力、自己調整力、協働する力、省察力等の向上を目指した授業実践
- 教育の情報化
 - ・**タブレットを活用した家庭学習の充実**
 - ・情報モラル教育の充実

<取組2> 特別支援教育の推進

- 個に応じた指導の充実(月1回委員会)
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりや学習環境の整備

<取組3> キャリア教育の推進

- 3年間を見通した進路指導の充実
- 体験活動・高等学校等説明会の実施
- 進路相談・三者面談の充実

<取組4> 安全意識の高揚

- 毎月の安全点検と修繕(校内外事故0)
- 危険予知・回避能力の育成(蛍光タスキの着用、避難訓練、交通安全教室等)

重点課題3

信頼される学校をつくる

<取組1> 教職員の資質向上

- 「かごしま教員育成指標」を活用した研修の充実
- 校外研修への積極的な参加の奨励 **年2回以上**
- 服務規律の厳正確保
 - ・交通違反事故、不祥事の根絶
 - ・個人ファイルの活用
- 業務改善の取組
 - ・校務処理の簡素化、合理化による適切な勤務時間の管理
 - ・ノー部活日、ノー残業日の徹底

<取組2> 地域や家庭の期待に応える取組

- **保護者と連携した家庭学習の充実**
- **いじめ問題解消率 100%・不登校新規出現率昨年度比 30%削減**
- 信用失墜行為 **0**

<取組3> 家庭・地域との連携

- 「始良市子育て基本条例」の推奨
- PTA活動の活性化
- 教育活動の広報
 - ・各便りによる情報発信
 - ・「かごしまの教育」県民週間の充実
- S SVC+の活用
- 地域行事への参加(年1回以上)
- **学校運営協議会の充実(年4回)**

<取組4> SDGsの視点に立った取組

- 持続可能な社会の実現に向けた学びと実践場の設定

<蒲生中ブロックの共通実践事項>

- 1 学びの土台となる「授業の構え5」の徹底
- 2 「振り返りの時間」で学びの確認
- 3 家庭学習の充実：家庭学習強調週間の設定、学習計画表の作成、家庭学習チェックポイント5の活用、家庭におけるメディアの適切な利用

<授業の構え5>

- ア 1分前着席→黙想→チャイムあいさつで授業に臨みます。
- イ 活動の場に応じた姿勢と正しい言葉遣いを心掛けます。
- ウ めあてをしっかりとつかみ、伝え合い、学び合い、高め合います。
- エ 自分の考えや疑問について挙手し、起立して積極的に発表します。
- オ 「わからない」「できない」ときは、恥ずかしがらずに聞きます。

《校訓：精いっぱい》

